

## 2節 いろいろな数列

### 1 数列の和と記号 $\Sigma$

#### 和の記号 $\Sigma$

(教科書 p.23)

例1

$$(1) \sum_{k=1}^4 (2k-1) =$$

$$=$$

$$(2) \sum_{k=1}^5 k^2 =$$

$$=$$

問1 次の和を、記号  $\Sigma$  を用いずに表せ。また、その値を計算せよ。

$$(1) \sum_{k=1}^4 (3k+2)$$

$$(2) \sum_{k=1}^6 k^2$$

$$(3) \sum_{j=1}^3 5^j$$

例2

$$(1) 1+2+3+\dots+n =$$

$$(2) 1\cdot 2+2\cdot 3+3\cdot 4+4\cdot 5+5\cdot 6 =$$

問2 次の和を、記号  $\Sigma$  を用いて表せ。

$$(1) 2+4+6+\dots+2n$$

$$(2) 1\cdot 3+2\cdot 4+3\cdot 5+4\cdot 6$$

#### 自然数の累乗の和

(教科書 p.24)

例3

$$1^2+2^2+3^2+\dots+10^2 =$$

$$=$$

問3 次の和を求めよ。

$$(1) 1^2+2^2+3^2+\dots+20^2$$

$$(2) 1^2+2^2+3^2+\dots+29^2$$

**問4** 等式  $k^4 - (k-1)^4 = 4k^3 - 6k^2 + 4k - 1$  を利用して

$$\sum_{k=1}^n k^3 = \left\{ \frac{1}{2}n(n+1) \right\}^2$$

が成り立つことを示せ。

数列の各項が定数  $c$  である場合には

$$\sum_{k=1}^n c = \underbrace{c + c + \dots + c}_{n \text{ 個}} = nc$$

である。とくに、 $c = 1$  の場合は (①) ) である。

以上をまとめると、次のようになる。

和の公式	
$\sum_{k=1}^n c = nc$ $c$ は定数	$\sum_{k=1}^n k = \frac{1}{2}n(n+1)$
$\sum_{k=1}^n k^2 = \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1)$	$\sum_{k=1}^n k^3 = \left\{ \frac{1}{2}n(n+1) \right\}^2$

- 例4**
- (1)  $\sum_{k=1}^n 5 =$
  - (2)  $\sum_{k=1}^{n+1} k =$   $=$
  - (3)  $\sum_{k=1}^8 k^2 =$   $=$
  - (4)  $\sum_{k=1}^{10} k^3 =$   $=$   $=$

**問5** 次の和を求めよ。

(1)  $\sum_{k=1}^n (-2)$

(2)  $\sum_{k=1}^{40} k$

$$(3) \sum_{k=1}^{12} k^2$$

$$(4) \sum_{k=1}^{n-1} k^3$$

$$(3) \sum_{k=1}^n 5^k$$

初項  $a$ 、公比  $r (r \neq 1)$  の等比数列の初項から第  $n$  項までの和の公式は、記号  $\Sigma$  を用いると次のようになる。

$$\sum_{k=1}^n ar^{k-1} = a + ar + ar^2 + \dots + ar^{n-1} = \frac{a(1-r^n)}{1-r} = \frac{a(r^n-1)}{r-1}$$

**例5**

$$(1) \sum_{k=1}^6 3 \cdot (-2)^{k-1} = \quad =$$

$$(2) \sum_{k=1}^n 3 \cdot 3^{k-1} = \quad =$$

**問6** 次の和を求めよ。

$$(1) \sum_{k=1}^5 2 \cdot 3^{k-1}$$

$$(2) \sum_{k=1}^n (-2)^{k-1}$$

**記号  $\Sigma$  の性質**

(教科書 p.26)

記号  $\Sigma$  の性質

$$\sum_{k=1}^n (a_k + b_k) = \sum_{k=1}^n a_k + \sum_{k=1}^n b_k \quad \sum_{k=1}^n ca_k = c \sum_{k=1}^n a_k \quad c \text{ は定数}$$

**例6**

$$\sum_{k=1}^n (4k + 1) = \quad =$$

$$=$$

$$=$$

**問7** 次の和を求めよ。

$$(1) \sum_{k=1}^n (3k + 2)$$

$$(2) \sum_{k=1}^{n-1} (2k-1)$$

$$(2) \sum_{k=1}^{n-1} (3k+2)(k-1)$$

**例7**  $\sum_{k=1}^n (k-1)(k-5) =$   
 $=$   
 $=$   
 $=$   
 $=$   
 $=$   
 $=$

$\frac{1}{6}n$  をくり出す

**例題** 連続する2つの自然数の積からなる数列  
**1**  $1 \cdot 2, 2 \cdot 3, 3 \cdot 4, 4 \cdot 5, \dots$   
 の初項から第  $n$  項までの和  $S_n$  を求めよ。

**解**

**問8** 次の和を求めよ。

$$(1) \sum_{k=1}^n 2k(3k+2)$$

p.34 Training 10

**問9** 次の数列の初項から第  $n$  項までの和  $S_n$  を求めよ。

$1 \cdot 1, 2 \cdot 3, 3 \cdot 5, 4 \cdot 7, \dots$

p.34 Training 11、 p.46 LevelUp 4-6

## 2 階差数列と数列の和

### 階差数列

(教科書 p.28)

一般に、数列  $\{a_n\}$  に対して、隣り合う項の差を

$$b_n = a_{n+1} - a_n \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

とするとき、この数列  $\{b_n\}$  を数列  $\{a_n\}$  の (②) という。

**例8** 数列  $2, 3, 5, 9, 17, \dots$  の階差数列は

となり、初項 ( ), 公比 ( ) の等比数列である。

**問10** 次の数列の階差数列の初項から第5項までを求めよ。

$2, 4, 9, 17, 28, \dots$

数列とその階差数列について、次の公式が成り立つ。

階差数列を用いて一般項を表す公式

数列  $\{a_n\}$  の階差数列を  $\{b_n\}$  とすると、 $n \geq 2$  のとき

$$a_n = a_1 + (b_1 + b_2 + b_3 + \dots + b_{n-1}) = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} b_k$$

**例題** 次の数列  $\{a_n\}$  の一般項を求めよ。

**2** 4, 7, 12, 19, 28, 39, ...

**解**

**問 11** 次の数列  $\{a_n\}$  の一般項を求めよ。

(1) 1, 2, 5, 10, 17, 26, 37, ...

(2) 3, 4, 7, 16, 43, 124, 367, ...

**例題** 数列  $\{a_n\}$  の初項から第  $n$  項までの和  $S_n$  が次のように与えられているとき、一般項を求めよ。

**3**  $S_n = n^3 - n$

**解**

**問 12** 数列  $\{a_n\}$  の初項から第  $n$  項までの和  $S_n$  が次のように与えられているとき、一般項を求めよ。

$S_n = n^2 + 3n$

p.34 Training 13

**数列の和と一般項**

(教科書 p.30)

数列の和と一般項	
数列 $\{a_n\}$ の初項から第 $n$ 項までの和を $S_n$ とすると	
	$a_1 = S_1$
$n \geq 2$ のとき	$a_n = S_n - S_{n-1}$

3 いろいろな数列

分数で表された数列の和

(教科書 p.31)

例題 次の和  $S_n$  を求めよ。

4 
$$S_n = \frac{1}{1 \cdot 2} + \frac{1}{2 \cdot 3} + \frac{1}{3 \cdot 4} + \cdots + \frac{1}{n(n+1)}$$

解

問 13  $\frac{2}{(2k-1)(2k+1)} = \frac{1}{2k-1} - \frac{1}{2k+1}$  が成り立つことを利用して、次の和  $S_n$  を求めよ。

p.34 Training 14, p.46 Level Up 7

$$S_n = \frac{2}{1 \cdot 3} + \frac{2}{3 \cdot 5} + \frac{2}{5 \cdot 7} + \cdots + \frac{2}{(2n-1)(2n+1)}$$

少し複雑な数列

(教科書 p.32)

例題 次の和  $S_n$  を求めよ。

5 
$$S_n = 1 \cdot 1 + 2 \cdot 3 + 3 \cdot 3^2 + \cdots + n \cdot 3^{n-1}$$

考え方  $S_n$  は等差数列  $1, 2, 3, \dots, n$

と、公比 3 の等比数列  $1, 3, 3^2, \dots, 3^{n-1}$

の対応する各項の積の和である。

等比数列の和の導き方と同様に  $S_n - 3S_n$  を計算する。

解



問 14 次の和  $S_n$  を求めよ。

p.34 Training 15

$$S_n = 1 \cdot 1 + 2 \cdot 2 + 3 \cdot 2^2 + \dots + n \cdot 2^{n-1}$$

問 15 自然数の列を次のような群に分け、第  $n$  群には  $2n$  個の数が入るようにする。

1, 2 | 3, 4, 5, 6 | 7, 8, 9, 10, 11, 12 | ...

p.34 Training 16, p.47 Level Up 8

(1) 第  $n$  群の最初の項を求めよ。

例題 6 正の奇数を小さい方から並べた列を次のような群に分け、第  $n$  群には  $n$  個の数が入るようにする。

1 | 3, 5 | 7, 9, 11 | 13, 15, 17, 19 | ...  
 第1群 第2群 第3群 第4群

(1) 第  $n$  群の最初の項を求めよ。

(2) 第  $n$  群の項の総和を求めよ。

(2) 第  $n$  群の項の総和を求めよ。

解

Training

(教科書 p.34)

10 次の和を求めよ。

$$(1) \sum_{k=1}^n (4k + 3)$$

$$(2) \sum_{k=1}^{n+1} (3k - 5)$$

$$(3) \sum_{j=1}^n (-12j + 6)$$

$$(4) \sum_{k=1}^n (k^2 + 2k + 3)$$

$$(5) \sum_{k=1}^n (k + 3)(2k - 1)$$

$$(6) \sum_{k=1}^n 4(-3)^{k-1}$$

$$(7) \sum_{k=1}^{n-1} (2^k - k^2)$$

$$(8) \sum_{k=1}^n 7^k$$

$$(9) \sum_{k=1}^n (k^3 - k)$$

11 次の数列  $\{a_n\}$  の一般項を求めよ。また、初項から第  $n$  項までの和  $S_n$  を求めよ。

(1)  $1 \cdot 3, 2 \cdot 5, 3 \cdot 7, 4 \cdot 9, \dots$

(2)  $2 \cdot (-3), 4 \cdot (-5), 6 \cdot (-7), 8 \cdot (-9), \dots$

**12** 次の数列  $\{a_n\}$  の一般項を求めよ。

(1) 4, 10, 20, 34, 52, …

(2) 1, 3, 7, 15, 31, …

**13** 数列  $\{a_n\}$  の初項から第  $n$  項までの和  $S_n$  が次のように与えられているとき、一般項を求めよ。

$$S_n = 3^n - 1$$

- 14  $\frac{1}{(3k-2)(3k+1)} = \frac{1}{3} \left( \frac{1}{3k-2} - \frac{1}{3k+1} \right)$  を利用して、次の和  $S_n$  を求めよ。

$$S_n = \frac{1}{1 \cdot 4} + \frac{1}{4 \cdot 7} + \frac{1}{7 \cdot 10} + \cdots + \frac{1}{(3n-2)(3n+1)}$$

- 15 次の和  $S_n$  を求めよ。

$$S_n = 3 \cdot 2 + 6 \cdot 2^2 + 9 \cdot 2^3 + 12 \cdot 2^4 + \cdots + 3n \cdot 2^n$$

- 16 自然数の列を次のような群に分け、第  $n$  群には  $(2n-1)$  個の数が入るようにする。

1 | 2, 3, 4 | 5, 6, 7, 8, 9 | 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16 | ...

- (1) 第  $n$  群の最初の項を求めよ。

- (2) 2020 は第何群の第何番目の項か。